

平成 30 年度 第 3 回 大阪府立今宮高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：平成 31 年 2 月 28 日（金）13：30～14：50

場所：本校 校長室

委員（敬称略）：

会 長	吉村 和彦	芦屋大学特任教授 元今宮高等学校長
副会長	向井 秀俊	大阪市立木津中学校校長
委 員	山本 英夫	戎橋筋商店街振興組合 事務局長
	川島 経正	自彊会会長
	西岡 大生	後援会会長（欠席）
	宮崎 次郎	P T A 会長

1. 挨拶（校長）

- ・本日、午前中、総合学科第 21 期生 7 クラスの生徒の卒業式を挙行し、無事終えることができた。
- ・本校は部活動が盛んなこともあり、教員の残業時間は全日制平均よりやや高めである。
- ・本日は報告等、盛りだくさんであるが、平成 31 年度学校経営計画（案）の承認をお願いしたい。

2. 協議会委員及び事務局員紹介

（各々より近況報告等）

- ・新しい同窓会員を歓迎する。同窓会活動をますます活発にしていく。
- ・努力なくして進歩なし、生き残れない。教育の世界も同じ。中学生と保護者に選ばれる学校づくりを。
- ・インバウンドの様態が次のステップへ。大阪や有名な観光地だけではなく、全国各地を回り始めた。そして、業界は人手不足である。英語によるコミュニケーション能力がますます必要とされている。経営者側にも多様性を認め共生する力やコミュニケーション能力がこれまで以上に求められている。

3. 事務局から報告

① 保護者からの意見について（本協議会に対する意見） … 特になし

② 生徒による授業アンケートの結果について

- ・ほぼ例年通りの結果であった。1 回目より 2 回目の方が評価はアップする。1 回目の結果による改善は勿論であるし、教員の授業の進め方に生徒が慣れることもあるだろう。
- ・その中で、「質問 2：授業中は、集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいる。」は、年度当初の緊張感が緩まるからか数値がダウンする。
- ・「質問 7：（授業分析）先生は生徒の意見や要望を取り入れ、授業改善に生かしている。」の数値がアップしているのは、生徒と教員との間に信頼関係が構築された結果であると受け止めている。

③ 学校教育自己診断の結果について

- ・ここ 10 年来、生徒の感想にほとんど変化は見られない。

④ 平成 30 年度学校評価（案）について

- ・「今宮ブランド意識の高揚」で「校歌に親しむ機会」を多くもつことは大切なことであると考えている。
- ・海外姉妹校訪問は 2 回実施。すでに実施した台湾への訪問は大成功であった。
- ・「カリキュラム・マネジメント委員会」を立ち上げて新学習指導要領による 2022 年度入学生の教育課程の検討が始まったことは大きな進展の 1 つ。
- ・英検 2 級以上保持者数増を掲げている。目標の 37 名を上回り、現在 44 名、2 月の可否発表でさらに増える見込みである。
- ・広報活動の充実もあり、中学生の志望者数が前年比 9 % 増。過去 4 年間で最高である。
- ・学校教育自己診断の保護者対象の質問「子どもが今宮高校で学んでよかった」への肯定的回答が 93 % で、好結果を維持できた。生徒の学校生活の満足度の高さと PTA 活動が活発であることが要因と思われる。

⑤ 平成 31 年度学校経営計画（案）について

- ・「2 中期的目標」「3. 個性を輝かす生徒の育成」「(1) 共生推進教室設置による総合学科生徒と共生推進教室生徒が、ともに成長する校風の確立」が新たに加わった重点項目である。共生推進教室準備プロジェクトの活動を推進していく。
- ・「3 本年度の取組内容及び自己評価」「2. 自己実現のための学力保障と進路保障」「国公立及び有名私大（関関同立産近甲龍・有名女子大）合格レベルの学力育成」「(1) カリキュラム・マネジメント委員会の活動推進」「2022 年度入学生の教育課程原案の年度内作成」も重視している。
- ・「キャリア教育の充実」について、生徒の「産業社会と人間」の評価が低めであるので改善が必要である。教員の意識から変えていく必要があると考えている。
- ・「4. 社会に開かれた学校づくり」の「中学校・塾訪問」の回数は、教員の残業時間の低減を図るため、あえて低めに設定している。

⑥ その他

- ・「大阪府部活動の在り方に関する方針」の発表を受けて、「大阪府立今宮高等学校 部活動に係る活動方針」を策定する。来年度から各部は、年間や月別の活動計画・実績報告等を作成することになる。報告書の様式等をお示しする。
- ・非常災害時の食料備蓄について、府では新 1 年生から実施されるが、本校ではそれに合わせて全学年で一括購入する予定である。内容はアルファ米 1 食・ライスクッキー 2 食・長期（5 年）保存水 500ml × 4 本で、価格は 1 人 900 円程度になる見込みである。

4. 協議

- ・英検 2 級に合格する時期はいつごろか？
- ・2 年生の終わりごろが中心。府立高校入試で活用されることもあり、府全体として資格保有者は増加傾向にある。
- ・英語の重要性が高まり、小学校 5・6 年生から英語学習が始まる。2 年前倒しで習得が進んでいく。
- ・大学入試でもますます重要視される傾向にある。

- ・4技能の大学入試導入については、経済格差・地域格差への配慮が必要だ。
- ・「授業アンケート」について。教員には個票の記述欄の活用を促している。評価の低い教員については管理職が指導する。
- ・小学校でも児童の評価はかなり当たっている。単に「厳しい」から嫌われるというようなことはない。中学校では生徒の学力が教員個人の力量で大きく変わるというデータがあることがある。
- ・授業の準備に時間をかけている教師かどうか、生徒は敏感に感じ取っている。
- ・生徒による評価は、努力している教員については着実に上がっていく。適応力のある人は良い方向に変わる。
- ・教師の指導力がデータから見えてくる部分は確かにある。
- ・多様性を認める人材の育成がこれからますます必要となる。
- ・人権教育等の充実がその意味でも必要である。共生推進教室の準備を来年度進めるが、本校サッカー部は、生徒の本籍校となるなにお高等支援学校との交流をすでに始めている。
- ・地域で理解を深めている生徒は、その点では大丈夫。教員が教わることも多い。
- ・何か問題が起こっても、その都度教員どうしで柔軟な協議を重ねていくことが大切だ。
- ・全教員の人権感覚を不断に磨いていくこと。
- ・それぞれの子どもに最も相応しい指導計画を立てること。
- ・子どもたちとも相談しながら学校をつくっていくのがよい。色々な地域から来ている生徒たちは色々なケースについて知っている。

〈最後に、平成31年度学校経営計画（案）について、委員による承認を得た。〉

5. 事務連絡

① 来年度の委員について

任期が可の方は、なにとぞ引き続き委員をお願いしたい。

② 来年度の開催日程（予定）

- ・第1回 6月 8日（土）オープンスクール後 15：50～17：00
- ・第2回 11月16日（土）授業参観後 11：15～12：30
- ・第3回 2月 7日（金） 15：50～17：00

6. 謝辞（校長）

- ・来年度は、共生推進教室の設置準備と、「大学入学共通テスト」対策を重点的に進めていく。
- ・本日はご多用のところご出席いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

以上